

コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高める

SSH科学体験研修

2024年7月22日 場所：日本科学未来館

研修に向けての準備

研修前にオリエンテーションを実施し、研修の目的および内容について説明を行いました。各クラス6名を1組とした班編成を行い、発表テーマの事前調査を進めていきます。

研修実施

午前中は常設展示を見学し、午後は展示内容のプレゼンテーションを行いました。発表後、聴講者による評価は発表者へ即時フィードバックされ、2回目の発表の改善へとつなげていきます。

本研修では、自身の成果物に対する意見や評価を受け止め、即座に改善させることが求められます。他者の評価により新たな課題に気づき、発表の面白さを体感することで、向上心が刺激され、更なるモチベーションの向上に繋がります。参加生徒たちは科学技術への関心を高めるとともに、展示内容を理解し発表することの難しさを学びました。苦労して「理解できた」「発表できた」という実感、的確に「伝えることができた」という達成感がチャレンジ精神を育み、向学心の礎になることを期待しています。



研修を終えて、参加生徒のふりかえり（一部抜粋）

- ・人の発表を聞いたり、自分が発表したりすることに慣れることが大切だと思った。
- ・同じテーマでも人によって着眼点が違って面白かった。
- ・質問する側の腕もないと発表が成り立たないので、切磋琢磨しあう必要があると思った。
- ・見たものを時間内に収め、説明する難しさがわかった。
- ・自分の考えや調べたことを人に発表することは緊張するが、やってみたら意外と面白かった。
- ・意外と人の前に出ると緊張はしないが、言葉でどのように表すか、頭が回らなかった。
- ・はじめは発表が苦手だから嫌だなと思っていたけれど、やって見ると面白かった。
- ・周りのみんながうまいので、どんどんその技術を盗んでいきたいです。
- ・とても楽しく感じると同時に自分が成長しているのを感じる事が出来て嬉しかった。

調査

- ・説明会、常設展18テーマの事前調査

見学

- ・プレゼン資料作成、ポスター制作

発表

- ・6名一組(発表1分、質疑応答3分、評価3分)

評価

- ・他者からの評価、即時フィードバック

改善

- ・自己評価、改善点の発見、総括